

ニュースレター No.69

平成から新しい元号を迎える年にあたって

一般社団法人福岡県助産師会 会長 上野 恭子

平成最後の年頭を迎え、皆様も様々な願いを心に誓われたことと思います。平成時代は、元年に合計特殊出生率 1.57 ショック、消費税 3%のスタート、平成 7 年阪神淡路大震災があり、その後多くの自然災害に見舞われました。平成 20 年のリーマンショックなど様々な出来事があったとともに、平成は少子・高齢化へのスタートでもあったと考えられます。

平成 30 年 12 月 9 日の「国際助産師の日」に明治 42 年産婆会からスタートした福岡県助産師会の歴史が紹介され、歴代会長の任期中の熱い思いが読み上げられました。当時から現在へ、更に未来への助走を始める年になると思っています。

平成 31 年の干支は亥。亥年を迎えられる会員の皆さまも多くいらっしゃると思います。福岡県助産師会に御支援をいただいている福岡県家族計画協会会長の長野作郎先生も亥年 8 周期を迎えられ、今年で 96 歳になられます。現役の産婦人科医師として診療に携わっておられ、昨年 11 月ネパールでの式典に参加されるなどご活躍されています。福岡県助産師会会員の皆さまも、人生 100 年時代をめざし、健やかで豊かな年であることを願っています。

福岡県家族計画協会が設立された当時、現在の少子・高齢化は予測できたでしょうか。平成 29 年度には出生数が 100 万人を切り、更に平成 30 年度出生数は 92 万 1 千人で過去最少を更新しています。少子化に拍車がかかっている状況です。人口減少は日本の労働力にも大きく影響し、女性の労働力が必然的に求められています。女性の役割も大きく変化し母性・母親役割が求められる中、女性のライフサイクルで妊娠・出産・子育てを中心に生涯を通して寄り添う専門職である助産師としてどのように関わっていくかが大きく試される時代かと思っています。

社会で活躍しながら子育ても担っていくことは、女性や子育てをしている人々には言葉にできないストレスが多々あると思います。平成 32 年度までに産後ケア事業を含む、妊娠・出産包括支援体制を充実させるためには、助産師として母子保健を取り巻く変化に対応していくことがより求められます。福岡県助産師会会員皆さまの御協力をお願い致します。

平成 30 年度、福岡県助産師会での会館整備で新しい会館建設に対し、総会で可決いたしました。福岡県内 3 力所で会館建設の説明会を予定していましたが、様々な角度から審議致してきました。その経過を会員の皆さまに説明させていただき、様々な問題点をどう解決できるか、今後の方向性を見極める年になればと考えています。多くの知恵で解決できればと思っています。今年もどうぞ宜しくお願い致します

母子保健情報交換会報告

副会長 稲富 博美

平成30年11月22日、天神「梅の花」にて母子保健活動に関する情報交換会を開催いたしました。この会の開催は、今年で10年目となります。情報交換会は、福岡県家族計画協会会長、福岡県医師会常任理事、福岡県産婦人科医会副会長、福岡県看護協会助産師職能委員長、周産期センターまた、行政から福岡県、福岡市、北九州市、久留米市、古賀市、福津市の母子保健関連部署の皆様をお迎えし、本会の常任理事と理事を含めた29人が参加する中で行なわれました。特に、多職種・他機関と協働するためには、助産師会の活動内容を“よく知っていただき、繋がりたい”との思いから、助産師会の活動を紹介するリーフレットを作成し配布しました。また、パワーポイントを用いて3部会8地区の活動紹介、助産師の質向上のための研修会、マタニティスクール、性教育、妊婦健診、訪問等の委託事業、産後ケア事業、子育て・女性健康支援センターでの相談事業や講座活動など、今年度の助産師会の活動を会長より報告させていただきました。また、ご来賓の皆様にも自己紹介を兼ね、母子を取り巻く現状やご活動、助産師および助産師会に期待すること等、活発な貴重なご意見を頂きました。切れ目のない妊娠期からの支援を行うためには、それぞれの活動を知り、顔が見える関係を築くことがとても重要です。そのような情報交換の機会を催すことが出来たことは、大変有難く思いました。これからも多職種・他機関と協働しながら、助産師会が担うべき役割を率先して実践して参りたいと思います。

研修会報告 (No.6、7)

教育委員長 吉田 静

11月に7回目の研修会を終え、今年度の研修会プログラムを全て終了しました。10月には福岡県助産師会会員である古賀ひとみ助産師に「産前産後の母子の身体ケア」の講義を行っていただき、筋肉や身体の仕組みなどの詳細や貴重な体験談をお話しくださり、多くの方にご参加いただきました。11月は熊本県から池田稔医師にお越しいただき「医師が伝える男の子の性教育」として、先生が小中学校で実践されている性教育の内容をお話しいただき、参加者の質問にも丁寧に答えてくださりました。

次年度もたくさんの方に参加していただける、楽しく学んで実践に役立つ研修企画を検討しております。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



『国際助産師の日 2018』開催報告

組織強化委員会 松元 久美子

昨年12月9日(日曜日)、福岡県教育会館において『国際助産師の日2018』を開催いたしました。プログラム内容は、『これからの助産師に求められるもの』というテーマで歴代会長数名の方からのメッセージ文をご披露し、続いて、昨年3月に日本初公開となったドキュメンタリー映画「オーガズミック・バース」の上映会を致しました。会員・非会員・助産学生を含め62名の方に参加して頂き、「助産師として目標を見出すことができた」「歴代会長の御言葉は胸に沁みました」「先輩方の様々な意見を聴くことが出来た」「今回のような助産師としての活動意欲を促す内容は刺激になります」など、すべてのプログラムにおいて、「良かった」と回答を頂き好評を得ることができました。参加者の表情から、限られた時間の中、お互いに打ち解け合うことが出来、散会となりました。

九州・沖縄地区研修会に参加して

保健指導部会長 福田 千鶴

ヤシの木が立ち並びまさに南国。日本中のサーファーを魅了する日向灘。そんな抜群のロケーションにあるANAホリデーインリゾート宮崎で、平成30年11月16日から17日にかけて平成最後の九州・沖縄地区研究会が開催されました。

今年のテーマは

「てげおもしろいちゃが! ひなた<日向>で語ろう! C・J・T」

— 助産師UP! 知ろう! 触れよう! わかちあおう!

助産師として女性のからだにむきあうために! —

C=乳(CHICHI)、J=助産師、T=膣(TITU)とし、「デリケートゾーンのケアの理論と実際」から「これって乳ガン? 妊娠期から授乳期までの乳がん最前線」の講演まで、多岐に渡って学べる研修会でした。おまけに、講演「TORCHを知ろう!」「生命倫理~妊娠20週前後で迫られる赤ちゃんの命の選択~」「食べながら学ぶ食からの妊産婦の健康支援」は、CLOCMiPレベルⅢ認証がお持ち帰りでき、ちょっぴり得した気分です。なかでも「食べながら学ぶ食からの妊産婦の健康支援」はおいしいランチョンセミナー風でお腹も満足しました。

1日目の終わりには、3部集会と懇親会が催されました。九州各地より集まった参加者が、テーマに沿って情報を交換しあうことで、それぞれの県の取り組みの違いや工夫などを知ることができ、とても勉強になりました。助産師同士なので、すぐに打ち解けあって、1時間の部会集会もあっという間に過ぎ去り楽しいひと時でした。残念ながら、今回は懇親会への参加は叶いませんでしたが、参加した方の話によると、非常に盛り上がり楽しかったとのこと。次回、機会があれば是非参加したいと思います。

また、今回のホスト役の宮崎県助産師会のスタッフの皆さんは、ひなた<日向>をイメージしたお揃いのオレンジのポロシャツで私達を迎え、その色に負けないエネルギッシュな明るさと団結力に驚くばかりでした。

次々回 2020 年秋の九州・沖縄地区研修会の開催地は、私たちの福岡です。参加された方々が大満足でたくさんのおみやげを持ち帰れるように、私たち福岡県助産師会のパワーと団結力を発揮していきたいものです。

表彰者報告

副会長 稲富 博美

受賞された皆様おめでとうございます。

福岡県家族計画協会会長表彰 本会より推薦（5名）

緒方理佐氏（北九州地区）、松浦栄梨子氏（宗像地区）、益永孝子氏（宗像地区）、石橋美幸氏（筑紫地区）、田中綾子氏（筑後地区）

上記5名が福岡県母子保健大会（11/1、田川市）にて表彰されました。

福岡県母子保健家族計画事業功労者知事表彰

本会推薦 谷口初美氏（福岡地区）

市町村推薦 橋本洋子氏（久留米地区）、榊田えみ子氏（宗像地区）

上記3名が福岡県母子保健大会（11/1、田川市）にて表彰されました。

平成30年度母子愛育会会長表彰

本会推薦 上野恭子会長 市町村推薦 原武範子氏（久留米地区）

上記2名が全国母子保健大会（11/8、伊勢市）にて表彰されました。



会館整備特別委員会報告

会館整備特別委員会委員長 澁谷 貴子

1 月理事会において、「新会館建設は見合わせる」という事が決議されました。会館整備特別委員会では、会館建設にむけて様々な視点から調査を行い、現段階では新会館建設には、無理があるとの考えに至りました。昨年 1 年間かけて、調査結果を理事会に提示し、理事の総意を得て、決議に至りましたことを報告いたします。

つきましては、会員の方々に向けて会館整備に関する説明会を福岡・北九州・久留米の 3 地区にて開催致しております。会員の皆様には、封書にてご案内を送付しております。皆様の大切な会館です。お忙しいとは思いますが是非、お近くの会場に足をお運び頂きますようお願い申し上げます。

3 部会報告

助産所部会 澁谷 貴子

新たな年を迎え、気持ちも一新して、今年も真摯に「自然なお産と母乳育児支援」に尽力していきたいと思っております。妊娠中に個別性を重視した助産師の寄り添いは、妊婦の不安を軽減させ、分娩をポジティブなイメージへと導きます。「切れ目ない」という視点からも、助産所部会員の業績は評価されるものであると考えます。女性の味方である助産師の存在は、心強く欠かせないものです。本来ならば、すべての女性に「私の助産師さん」という存在が不可欠であり、「My 助産師制度」も早く構築されることを望みます。また、メンタルケアの必要な母親たちのサポートを「産後ケア」という形で、しっかりと支援していきたいと思っております。

皆様にお知らせです。広瀬亜矢氏が「日向助産院」無床助産院を開設されました。個々にあった充実したホームケアを展開されることだと存じます。地域母子保健の担い手として、分娩を基盤とした助産所が開設されることはとても貴重であり素晴らしいことだと思っております。広瀬氏の今後のご発展を心より祈念致します。

現在、福岡県内の助産所は、有床助産所は 10 か所、無床助産所は 2 か所になりました。また、本年も助産所部会では、安全な分娩の提供、母子の健康増進を目的としたケアの充実を目指し、部会員の結束を強固に他部会との連携を図り、助産所部会としてさらなる発展の一年を過ごしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

保健指導部会 福田 千鶴

ここ最近の産後ケアへの関心の高まりは、行政だけでなく民間企業によるサービスも見受けられるようになりました。そして、産後早期からの育児支援やメンタル面のケアには、専門知識と豊富な経験をもつ助産師への期待が膨らんでいると思います。

それに反映してか、保健指導部会でも、アウトリーチ型開業の会員が増えてきました。そこで、来年度は、部会員の皆様の活躍に役立てていただきたいと思い研修会や情報交換の場としての部会会議を多く企画し、実行していきたいと思います。

さて早速ですが、来る平成31年3月21日(木)に部会の総会を開催致しますので、参加のほど宜しくお願いいたします。

勤務部会 島ノ江 栄子

春の気配なお遠い折、皆様におかれましてはますますご活躍のことと察し申し上げます。母子保健推進のため、助産師の連携を図り助産師業務水準を維持し改善・向上に努めるべく、座して待つのではなくアクティブな活動が必要とニュースレター(2018・6)に所感を述べました。が、この1年を顧みましても活動が出来ていないことを報告しなければなりません。病院や診療所等で従事している助産師は、福岡県助産師会における活動内容をよりよく理解した上で、より実践的な知識と対応の技術を身につける必要があります。

2017年母子保健法に位置づけされた、市町村における子育て世代包括支援センター設置に伴い妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援においては、日本産婦人科医会主導の母と子のメンタルヘルスケア研修(基礎編・入門)を、日本母体救命システム普及協議会(J_CIMELS)では、産科危機的出血への対応指針によるインストラクター研修・アドバンスコース研修と段階的な実務研修を受講しています。助産師が継続的に自己啓発を行い、専門能力を高め、妊産褥婦・新生児とその家族に対し安全で安心な助産ケアを提供できるCLOCMiPを活用するのもその一つで、それは社会や組織が助産実践能力を客観視できる仕組み作りになると考えます。就業している助産師の約3人に1人が認証を受けているアドバンス助産師を目指し質の向上を図るもよし、積極的な学会参加により業務動向を知るもよし、個々人の努力が助産師業務全体の質の向上に確実に繋がるのです。因みに、2019年3月2・3日の日本助産学会学術集会(福岡国際会議場)では、口演・ポスター演題発表に加え、周産期メンタルヘルス・アドバンス助産師の活動・乳腺炎重症化予防のための手技的ヒント・公開講座等々、約2000人の参加が見込まれています。福岡の助産師の元気度を全国に発信するチャンスOfYearとしませんか!!



学校法人福岡保健学院みずまき助産院ひだまりの家

木の香りいっぱいの、身体に優しい助産院です。
あかちゃんとそのご家族が笑顔になれるよう、お手伝いさせていただきます。

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14-50

Tel: 093-201-7731 / Fax: 093-201-7741

ホームページ: <http://hidamari-ie.jp> e-mail: jyosanin@hidamari-ie.jp



安全対策委員会

安全対策委員会委員長 澁谷 貴子

安全対策委員会の活動としては、平成 30 年度は教育委員会とのコラボ企画で「産科出血」の研修会（ラダー対応）を行っており、多数のご参加があり、心より感謝いたします。

平成 31 年 1 月 26 日に三部会合同企画の安全管理研修会を行いました。Ⅰ部は本部の安全管理研修会の報告、Ⅱ部は助産所部会（医療ネグレクトの症例発表）、保健指導部会（分析手法を使って事例から学ぶ）、勤務部会（真田産婦人科産後ケアセンターマリィのおうち産後ケアの実際）の発表、その後の参加助産師とシェア会では活発な意見交換が行われました。

本部研修の内容については、「個人情報保護法の改正に伴う災害時の個人情報の取り扱い」「災害時の食と栄養」「医療事故調査必要な視点と考え方～V A-R C Aを用いた分析手法」「シンポジウム 助産師が支える産後ケア～他機関との連携を考える～」でした。この研修は本部より、遠隔配信もされていました。「安全対策委員会・災害対策委員会・子育て、女性健康支援センター推進委員会」の連携集会が開催され、それぞれの委員会において細かな情報伝達と全国各地からご出席の会員の方々との活発な意見交換がなされました。集会に関しては、遠隔配信はされていません。Ⅰ部では、その詳細も含め報告致しました。

Ⅱ部の各部会の発表についての感想は、内容も充実しておりしかもどれもタイムリーな課題であったと思います。ヒヤリハット症例をシェアでき、それぞれの部会員が忌憚なく意見交換されたことは、本会の会員のリスク管理の意識を高めることにつながり、意義深い研修でした。



開業助産師の技と知恵を学びませんか

助産ケアを深める会 セミナー随時開催中！
短期留学制度有り

しぶや助産院

〒811-4231 福岡県遠賀郡岡垣町旭台3丁目11-5
TEL : 093-282-3476
Mail : heartfullmoonbaby@gmail.com

院長助産師
澁谷貴子

アロマスクール
Mother Rose
～開講中～
アロマセラピーを学んで
助産ケアに役立てませんか

しぶや助産院 検索

福岡県医療事故等支援団体連絡協議会の報告

安全対策委員会委員長 澁谷 貴子

1月18日に福岡県医師会館において、福岡県医療事故調査等支援団体連絡協議会が行われ、本会の代表として出席しております。福岡県内において、支援件数は30年度は11件（うち1件取り下げ）であり、病理解剖実施事例は5件（42件中）、司法解剖実施事例5件（42件中）となっています。診療科別としては、外科16件について、産婦人科は7件で2番目に多く報告されています。

また出席団体の現状報告が発表されました。福岡県助産師会としては事故発生はなく、初動プロトコルの整備も整っており、埼玉県助産師会から発刊された「医療事故調査制度ガイドライン」があり参考になることも報告しております。

3月19日19時～20時30分 福岡県医師会において「医療機関が医療事故調査を適切に行うための考え方と具体的対応」についてのシンポジウムが開催される予定です。本会からも出席者を募りたいと考えております。

トピックス

「朝倉災害母子支援センターきずな」ダブル受賞に福岡県助産師会貢献

松元 久美子

平成29年7月の九州北部豪雨災害発生から25日目の8月1日に、「朝倉災害母子支援センターきずな」がオープンし、この「きずな」での活動には様々な方にご支援を頂きました。ボランティア会議の場で、朝倉市の避難所にて「女性・母子健康相談」の支援活動をしていた福岡県助産師会理事の仲道氏と「きずな」事務局の大場氏の出会いがあり、会のご協力を頂き、『助産師相談』を8月から毎週月曜と金曜13時から16時まで実施することになりました（10月からは週1回毎週金曜のみ）。ケースに応じて、発育計測、沐浴、乳房マッサージ、仮眠休息、授乳介助、身体のタッチケアや傾聴し必要に応じてアドバイスを丁寧にして頂きました。お陰様で「きずな」は、昨年3月に福岡県防災賞（団体部門）、11月に第17回福岡県男女共同参画「困難な状況にある女性の自立支援部門」のダブル受賞を頂きました。



災害対策委員会研修会報告

「助産師の防災意識と行動力を高めよう」

九州北部豪雨から学んだこと～災害から母子を守るために～

災害対策委員長 田中 綾子

平成30年12月1日開催

九州大学決断科学センター助教杉本めぐみ氏をお招きして研修会を開催しました。災害時、高齢者と子どもを持つ母は最大の弱者です。妊婦や子育て中の母に寄り添う助産師として、防災について助言できる助産師になるために、メディアでは伝えられない情報など踏まえお話しして頂きました。今回は福岡県助産師会も後方支援させていただいた災害母子支援センター「きずな」で活躍された松元さんの出席もあり活動の実際も知ることができました。今回は非常食の試食をしながらグループディスカッションも行いました。



アドバンス助産師の更新について

高橋 愛子

CLoCMiP®IIIを取得したアドバンス助産師は、新規認証年から5年ごとの更新になります。更新の時期（2020年8月～）が近まってきました。認証更新については、日本助産師会の会員専用ページ内の「アドバンス助産師の更新」で情報を公開しています。

お知らせ

仲道 由紀

福岡県助産師会では、福岡市より委託を受け、『働くママとパパのマタニティスクール』を毎月開催しています。毎回、多数の応募があり、とても人気のあるスクールですが、担当者が不足している状況です。スクールをご担当して下さる方を大募集しています。ご興味がある方は、各地区理事、もしくは、福岡県助産師会代表携帯電話までご連絡ください。

（会代表携帯電話番号：080-2779-6708）どうぞよろしくお願ひいたします。

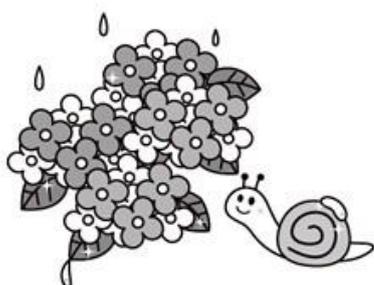
産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313

福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



水と、空気と、睡眠と。
TUK 東洋羽毛



暖かさに
包まれる
贅沢なひととき。



羽毛足首ウォーマー 冷えは女性の天敵!



皆様に愛されて
24万4,568個*



◇いつでも ◇どこでも ◇どんな季節も

※2018年2月現在

東洋羽毛九州販売株式会社

福岡営業所 0120-104557

鹿児島営業所 0120-881125

長崎営業所 0120-104203

熊本営業所 0120-382808

宮崎営業所 0120-104039

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

・・・産科用品の自動販売機・・・

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用いただけます。

GLORY.
光物販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます



投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます



外形寸法 (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg



企画・発売元

SEBE セベ産科用品株式会社

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL:(092)472-4316



赤ちゃんの城
Akachano no Doko



わたしたちはレイエット・メーカー
赤ちゃんといっしょの夢をみます。

産院内用ウェア寝具 / 退院時用品
プランニング & デザイン

わたしたちの商品は全国120店の百貨店で販売され、
700施設の産婦人科病院で採用いただいています。

株式会社 赤ちゃんの城

TEL:0942-37-8111 FAX:0942-39-5184
「赤ちゃんの城」HP URL http://www.baby.co.jp/

家づくりに悩んでいる方を ご紹介ください

福岡県助産師会館のすぐ隣にある「助産師と考えた家（福岡市中央区平尾）」が、お陰様で3年目を迎えました。

会員の皆様からいただいた要望を34項目取り入れたこの家は、NHKをはじめ、各報道機関にも取り上げていただき、これまでに延べ350名以上が見学を訪れ多くの反響をいただいております。



助産師と考えた家

《紹介する3つメリット》

- ① 妊婦や出産後の母子、ご家族へ健康に対する「衣食住」のアドバイスができます
これまでの「衣」や「食」に対するアドバイスの他に「住」についてもアドバイスができるようになります
- ② 家づくりに悩んでいる方が、「住まい」について比較することができます
施工技術全国1位の福岡工務店がプロの立場から、住まいの相談にのります
- ③ 会員様個人と福岡県助産師会へ、紹介料をお支払い致します
ご紹介していただいた方が当社に来社すると会員様個人へ、そして契約まで至ると会員様個人と合わせて福岡県助産師会にも紹介料が支払われるので、会全体でできることがさらに広がります

・ご紹介 →	5,000円(会員様個人)
・ご成約 →	100,000円(会員様個人)
	50,000円(福岡県助産師会)

《紹介からお支払いまでの流れ》

1. 教える

家づくりに悩んでいる方へ、「助産師と考えた家」や「福岡工務店」があることを知らせていただき、家づくりの悩みが解決できることをお伝えください。



2. 連絡する

悩んでいる方が詳しく話を聞いてみたいとなったら、希望日や時間を確認し、会員様から当社にお電話、またはメールをください

電話:092-586-7658
メール:info@fukuoka-k.jp



3. お支払い

ご紹介していただいたお客様が福岡工務店の事務所にご来社して頂いたら、当社から会員様へご連絡致します。その際にお支払い口座を教えてください、後日お振込みさせていただきます。
※成約に至った場合も同様です

ご相談やご連絡は、担当の「増田（ますだ）」まで

092-586-7658



増田

福岡工務店

メールアドレス: info@fukuoka-k.jp
受付時間: 9時～18時
定休日: 水、隔週火
土・日・祝も営業しています

平成 31 年度通常総会案内

高橋 愛子

平成 31 年度通常総会を 5 月 12 日（日）に開催する予定です。今年度の総会では、特別講演はありません。

一般社団法人福岡県助産師会では、会員募集中です！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記のQRコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページに入れます。

または、下記へ連絡をお願いします。

〒811-3507

宗像市多禮 598

田中 啓子（福岡県助産師会 会計）

TEL 090-9721-6590

FAX 092-943-4576（愛和病院内 田中宛）

メール hiroko.tanaka@aiwa-hospital.or.jp



ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております



【編集後記】

新年を迎え、今年は平成から年号が変わります。

何になるでしょう？ 何だかドキドキ、わくわくしますね。

ニュースレターも そんな気分になれるように

新たな気持ちでスタート致します。

広報委員 高橋・松山・長谷川・原武・益永・大島

一般社団法人福岡県助産師会ニュースレター第 69 号 2019 年 2 月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 上野 恭子

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <http://www.fukuokajyosanshi.com>